

リフォーム前

10年ほど前に都市部から伊佐市に移住されたお施主様、伊佐の豊かな自然は四季折々の景色や農作物などの恩恵と同時に、厳しい夏の暑さや冬の寒さをもたらします。お住いの既存住宅は築68年で無断熱、加えて地震に対してもほぼ無防備な状態でした。近年の変化の著しい気候や、頻発する地震による防災意識の高まりもあり、このたび一年を通じて快適で安心して暮らせる住宅へリノベーションすることになりました。

リノベーションするにあたって、お施主様と以下の内容を重視していく事を確認しました。

- ・一年を通じて過ごしやすい住環境にすること
- ・耐震補強をすること
- ・可能な限り自然素材を使って家づくりをすること
- ・東西南北に風が抜けるようにすること



①外観

モルタル壁とシングルガラスのサッシ。見晴らしは良いが夏・冬の空調効率の悪さが課題であった。また、モルタル壁とサッシの境目からの雨漏りが発生し、そこに白蟻の被害がみられた。



②リビングと玄関

一番利用頻度の多いスペース。無断熱で開口部が多く室内の温度管理が難しい状況だった。そのため冬の寒さが厳しく、断熱改修が今回のリノベーションをおこなう一番の動機となった。また、壁量も少ないため、耐震改修をして地震への備えが必要だった。



③客間

四方を建具に囲まれているので、室内の温度管理やプライベートの確保が難しかった。お客様との打ち合わせの中で、このスペースは、多目的ルームにしたというご要望を頂いた。



④寝室

開口部はあるものの、空気の流れが悪く、湿気が籠もってカビが生えやすい状態であった。また、冬季は就寝時の寒さが厳しく、快適に過ごすために断熱改修と採風改修が必要だった。



リフォーム後

お施主様の一番のご要望だった断熱改修にあたり、木材が長く適切な状態に保てる木材由来の断熱材『セルロースファイバー』を採用しました。これによって壁内結露を防ぎ、カビの発生も抑制できるようになりました。

また、自然素材を使ってほしいというお施主様のご要望で外部は地元伊佐市の杉を使った木壁（柿渋塗装仕上げ）、室内は屋久島の杉材を無塗装で床と腰壁に使用し、腰上の壁と天井は珪藻土を塗りました。



①外観

断熱サッシの採用や耐力壁を設けるなどし、耐震断熱化を図るとともに、モルタル壁を全て地元産の杉板貼りにし、お施主様と一緒に柿渋を塗って無垢材の風合いを損ねないように仕上げた。



④寝室

内装は全て無垢材と珪藻土で仕上げ、窓から見える庭の眺めも損なわぬように配慮し、リラックスした時を過ごせる空間に仕上げた。また、風通しのよさとセルロースファイバーの断熱材でジメジメした寝室環境を改善することができた。

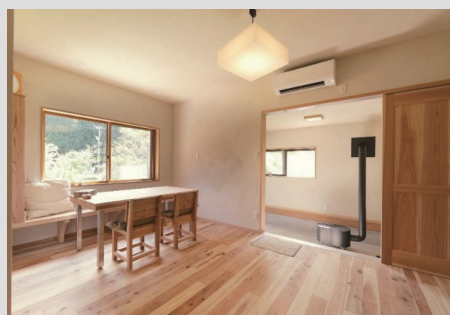


②リビングと玄関

耐震断熱改修後も眺めや明るさを損なわない様に配慮した。床は杉の無垢材、家具や本棚、窓前のカウンターに至るまで全て県産材の無垢材を使用し木の香りに包まれる空間とした。



緑豊かな庭を眺めながら作業できる寝室東側のワークデスク。



夏場はエアコン1台で、冬場の暖房は土間にある薪ストーブ1台で家全体を空調できる。



③ダンス教室練習場

通風や採光に配慮しながら、個人の寝室との間に壁を設けプライバシーを確保できるようにした。断熱材に調湿効果の高い木質由来のセルロースファイバーを採用し、湿度の高い日も快適に過ごすことが可能になった。

応募者・設計者・施工者

株式会社 異島住建

築年数

68年

構造

木造

建方形式

一戸建て

竣工

令和5年12月

工事期間

240日間

工事費

1,800万

所在地

伊佐市

リフォーム内容

県産材をふんだんに使った
耐震断熱リノベーション